

1月1日に最大震度7の揺れを観測した能登半島での大地震は、建物被害、火災、断水など甚大な被害を出し、今もなお復旧に至らない状況にあります。東日本大震災で被災した本市では、地震などに対する拠点避難所の整備、原子力災害対策、地域における自主防災組織の設立促進などを進めてきました。

今回は、防災に関する事業と、災害時の備えについて紹介します。



特集 災害に備える



////////// 防災新事業 一新たな取り組み //////////

NEW ハザードマップ

新しいハザードマップの配布を予定しています。洪水浸水想定区域はこれまで「涸沼川」のみが対象となっていました。法改正により、中小の河川も対象となりました。詳しくは右の二次元コードからご覧ください。



洪水浸水想定区域

災害時協力井戸登録制度

災害時の生活用水確保のため、断水時、地域の皆さんに生活用水をご提供いただける井戸を「災害時協力井戸」として登録します！ご協力いただける方は、右の二次元コードから申請内容をご確認ください。



詳しくはこちら

拠点避難所 2 か所追加

市内の避難所 30 か所のうち、優先的に開設する「拠点避難所」に、友部第二中学校、岩間海洋センターの 2 か所を追加指定しました。災害時、避難所を開設する際は、HPや防災行政無線などでお知らせします。

拠点避難所

笠間小・稲田中・市民体育館・友部小・友部中・友部二中・岩間中・岩間海洋センター

自主防災組織への支援

設立 10 年を超える自主防災組織へ資機材の更新費用の補助をします（上限10万円）。

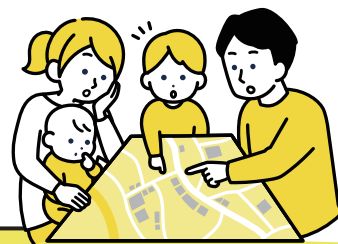
※設立が早い組織から順に通知します（令和6年度 20 団体予定）

災害時支援員登録制度

市や消防、警察、自衛隊などの OB の方を支援員として事前登録します。

新常識!?
分散避難
とは

感染症拡大をきっかけに、避難所以外の場所に避難する「分散避難」の考え方が生まれました。
親戚や知人宅、地域の集会所、ホテル、車中など、自分に合った避難先をいくつか考えておきましょう。



防災気象
情報に
注意!

災害が迫った時、置かれた状況は一人ひとり異なります。テレビやラジオなどから最新の情報を入手し、危険な場所に近づかないことが重要です。いざという時には、それぞれが自ら判断し、適切な行動をとらなければなりません。普段からお住まいの周辺状況を確認しておきましょう。

災害時、笠間市の情報を
さまざまな方法で発信します!

防災行政無線フリーダイヤル
☎0120-996-131

※防災行政無線が聞こえにくい
場合にご利用ください。

緊急速報メール
市ホームページ・SNS

かさめ〜る

災害情報のほか、行政情報や観光情報なども配信!
ぜひ登録ください!



登録はこちら

Yahoo! 防災速報

アプリのダウンロードはこちらから



自宅を
より良い
“避難所”に

自宅が倒壊や浸水などによる危険がなく、安全な状態であれば、災害発生後も自宅で過ごす「在宅避難」も選択肢の一つです。
ライフラインの代替品を備えたり、家具・落下物は固定しておくなど、災害が起きたらどうなるかを「想像」して、災害に強い家を目指しましょう!



備えて安心! 在宅避難チェック

いざ避難する時のために非常用袋の
ご準備もお忘れなく!

- ☑ 水 目安: 1人1日3リットル
- ☑ 食料 最低3日分、できれば1週間分
- ☑ 生活用品
- ☑ 断水対策
(簡易トイレ、給水を受ける容器、消毒液など)
- ☑ 停電対策
(懐中電灯、カセットコンロ、携帯バッテリー、蓄電池など)
- ☑ 自分や大切な人に必要なもの
(常備薬、育児用品、ペット用品など)

